Introduction to Development

Yu Tokunaga

The primary objective of this document is to facilitate a conceptual comprehension of "What constitutes system development" for individuals lacking IT skills and industry experience. This endeavor is not aimed at presenting efficient methodologies or challenging widely accepted norms; rather, it seeks to methodically consolidate information for those desiring a fundamental grasp of essential points.

Contents

1 Console	3
1.a コンソール	3
1.a コンソール	3
1.c コマンド	
2 Rust 2.a 基本的な文法	3
2.a 奉平的な义法	3
4 Quality Control	3
5 Git	3
5.a バージョン 管理	3
6 Entity Component System	3
7 Web	3
8 Database	3
8.a データベースとは	3
9 Technical Writing	3
Bibliography	
APPENDIX A: Foo	
APPENDIX B: Bar	

1 Console

1.a コンソール

コンソールとは, OS を搭載したコンピュータに接続されたディスプレイおよびキーボードを指す. つまり, コンピュータとの対話を可能にするための物理ハードウェア, 広義の入出力システムともいえる.

「文字だけの黒い画面」の実体は,仮想コンソールである. これは入出力を仮想的な空間に提供するものであり,この環境はCUI (Character-based User Interface)とも呼ばれる. CUI は,我々が日常的に利用する GUI (Graphical User Interface)とは対をなす存在であり,文字に基づいたユーザーインターフェースを提供する.

インターフェース

"Interface"という語はハードウェアでもソフトウェアでも登場する.情報産業では主に,異なる二つのモノ(人間や機器)を接触させるための境界面として用いられる語である.

1.b ターミナルとシェル

仮想コンソール(CUI)を提供するアプリケーションは一般にターミナルと呼ばれる、Windows におけるコマンドプロンプトや、MacOS における iTerm2 や Warp などがターミナルにあたる. これらは GUI 上で CUI を操作するための窓口になる.

本題となるコンピュータへの命令はコマンドという. コマンドを解釈し,実行する仕組みをシェルという. シェルの役割はコンピュータとの対話を実際に担うアプリケーションであり,Bashやzsh,fishなど種類が存在する.

シェル

エンジニアでない一般ユーザが OS と対話するためのシェルに, Windows のエクスプローラーなどがある. CUI のシェルと GUI のシェル, 操作しやすいユーザ層は当然異なる.

要するに,エンジニアがコンピュータへ命令するためには基本的に「ターミナルを起動し(シェルを介して)コマンドを入力」する.また,コマンドを入力する行のことをコマンドラインという. 単語が重要なのではなく,このCUI 構成を理解することは今後役に立つ.

1.c コマンド

ここでは ,基本的なコマンドを紹介する . 細かいオプションまでは解説をしない . なお ,ここで使用するコマンドは Windows コマンドプロンプトでは使用できない .

1.c.a ファイルの一覧化: ls

まずはフォルダの内容を確認したい. そのようなときに打つコマンドである. 何回打っても良い.

ls

1.c.b ディレクトリの移動: cd 今いるフォルダから移動したいときに打つ. {path} にはフォルダ名などが入る.

cd {path} // {path}に移動

cd .. // 1つ上のディレクトリに移動 cd ~ // ホームディレクトリに移動

コマンドライン

本文書では,コマンドラインへの入力表記において{}を代入記号,//をコメントとする.コメントは実際に入力せず,可読性を補助するテキストである.

2 Rust

2.a 基本的な文法

1 pub fn main() {
2 println!("Hello, world!");
3 }

3 Algorithm

4 Quality Control

5 Git

5.a バージョン管理

6 Entity Component System

7 Web

8 Database

8.a データベースとは

9 Technical Writing

Bibliography

APPENDIX A: Foo

APPENDIX B: Bar

yu@tokunaga.dance